資料２

公開実践の実施概要

Ⅰ　中区

１　園名

実施園：基町保育園
連携園：基町幼稚園

２　日時

令和３年１２月１０日（金）　９：４０～１１：４５

３　参加園

公立園３園　３名、私立園２園　２名

４　意見交流したいポイント

・　主体性を育む保育について
・　環境と遊びの大切さについて

５　公開内容

１歳児が、園での生活に慣れ、部屋を走り回る、遊具を取り合う等の様子が見られたことから、保育者の応答的な関わりや室内環境の改善により、自ら遊びを選び、乗り物ごっこやままごとなどの室内遊びをじっくりと楽しむことができるようになった様子を公開した。

また、２歳児が、多言語が行き交う環境や、気持ちが崩れて落ち着かなくなる等の様子が見られたことから、子どもに合わせた言葉掛けや室内環境の改善により、２、３人での病院ごっこやままごと、パズルやお絵かきなどで遊ぶことができるようになった様子を公開した。

１歳児乗り物ごっこ

２歳児病院ごっこ

６　意見交流

乳幼児教育保育アドバイザー（以下、「アドバイザー」という。）の支援を受けながら、園内研修コーディネーターの進行の下、意見交流を行った。

担任から、多国籍の園児が在籍する実態や室内環境や生活の流れを見直すことになった経緯等について説明した後、４グループに分かれて、園が示した印象に残った子どもの姿や保育者の姿、環境構成、今後の展開の４つの視点について話し合った。

その後、各グループで出された意見を全体で共有し、アドバイザーが講評を行った。

グループでの意見交流

全体での意見共有

Ⅱ　東区

１　園名

実施園：わかくさ保育園
連携園：矢賀幼稚園

２　日時

令和３年１２月１４日（火）　１０：００～１１：３０

３　参加園

公立園１園　２名

４　意見交流したいポイント

- 自分なりの表現を楽しんでいる姿について
- いろんなことに目を向けて夢中になる姿について
- 友達とどのようなやり取りをしているかについて

５　公開内容

２歳児が、４、５歳児の合奏にあこがれて楽器遊びを楽しんでいることや、「お楽しみ会」を心待ちにしながらクリスマスの曲に親しんでいること、散歩等で色々な木の葉や木の実を見つけて遊びに取り入れていることを踏まえ、クリスマスの曲に合わせて歌ったり楽器遊びをしたりする様子や、園庭に出て木の実や葉っぱなどを見つける「いい物見つけ」をし、見つけた物を使ってクリスマスツリーに飾りつけをする様子を公開した。

クリスマスの曲に合わせた楽器遊び

園庭で見つけた「いい物」をツリーに飾りつけ

６　意見交流

アドバイザーの支援を受けながら、園内研修コーディネーターの進行の下、意見交流を行った。

担任から、公開当日までに至る子どもの姿や育ちについて説明した後、２グループに分かれ、子どもが表現を楽しむ姿や夢中になっている姿、子ども同士のやりとりなどについて話し合った。

その後、各グループで出された意見を全体で共有し、アドバイザーが講評を行った。

グループでの意見交流

全体での意見交流

Ⅲ　南区

１　園名

実施園：荒神保育園
連携園：なし

２　日時

令和３年１２月７日（火）　１０：００～１１：３０

３　参加園

公立園１園　１名、私立園３園　４名

４　意見交流したいポイント

- 好きな遊びをみつけ、夢中になって遊ぶ姿について
- イメージを膨らませて自分なりに表現する姿について
- 友達と関わる姿について

５　公開内容

３歳児が、絵本「１１ぴきのねこシリーズ」に夏から親しんでいることや、友達の遊びに関心を持ち一緒に遊ぼうとしていること、体験したことをごっこ遊びに広げようとしていることを踏まえ、子どもが１１ぴきのねこになって、コロッケ屋さんごっこやねこの好きな魚を焼くバーベキューごっこ、コロッケに添えるキャベツやバーベキューに使う魚の製作などの様子を公開した。

「11 ぴきのねこ」になってのコロッケ屋さんごっこ

キャベツや魚の製作

６　意見交流

アドバイザーの支援を受けながら、園内研修コーディネーターの進行の下、意見交流を行った。

担任から、公開当日までに至る子どもの様子や保育者が保育で大切にしたことについて説明した後、３グループに分かれ、子どもが夢中になっている姿やイメージを膨らませている姿、友達と関わる姿について、ＫＪ法により子どもの姿を分類しながら話し合った。

その後、各グループで整理した内容を発表し、アドバイザーが講評を行った。

担任から子どもの様子や当日の保育について説明

ＫＪ法による意見交流

Ⅳ　西区

１　園名

実施園：ふくしま保育園
連携園：なし

２　日時

令和３年１０月２７日（水）　１０：００～１１：３０

３　参加園

公立園２園　２名、私立園２園　２名

４　意見交流したいポイント

- 活動に期待感を持って主体的に遊ぶ姿について
- 自分なりに考えたり、悩んだりしながらイメージしたものを安心して表現しようとする姿について
- 見守りや仲立ちの中、友達同士で関わったり、認め合ったりする姿について
- 活動に見通しを持ち、自分で考えて行動する姿について
- いろいろなリズムを自分なりの表現で行おうとする姿について
- 自分の思いをしっかり出し、友達と気持ちを合わせようとする姿について

５　公開内容

４歳児が、好きな動物を図鑑で調べることや、絵画表現をしていること、動物に関するクイズを友達と楽しんでいることを踏まえ、自分の好きな廃材や素材を選んで動物を作り、先生や友達に見せたり、クラスで発表したりする様子を公開した。

また、５歳児が、色々なリズムに合わせて身体を動かしてきたことや、友達と意欲的に表現活動を積み重ねてきたことを踏まえ、自分なりに身体表現したり、友達と一緒にリズム遊びを楽しむ様子を公開した。

廃材を使った動物づくり

ピアノに合わせてリズム体操

６　意見交流

アドバイザーの支援を受けながら、園内研修コーディネーターの進行の下、意見交流を行った。

担任から、公開当日までに至る子どもの様子や保育者が保育で大切にしたことについて説明した後、２グループに分かれて、子どもの主体的な姿や表現している姿、友達と関わる姿について話し合った。

その後、各グループで出された意見を全体で共有し、アドバイザーが講評を行った。

グループの意見を全体共有

グループで発表された資料

Ⅴ　安佐南区

１　園名

実施園：中筋保育園
連携園：中筋幼稚園

２　日時

令和３年１２月９日（木）　１０：００～１２：００

３　参加園

公立園１園　１名、私立園３園　３名

４　意見交流したいポイント

- 自ら環境に関わり、イメージを膨らませて遊ぶ姿について
- 子どもが主体となって遊ぶ環境作りについて
- 遊びの中での子ども同士の関わりについて

５　公開内容

２歳児が、じっくり遊んだり落ち着いて遊んだりすることができるよう環境構成を改善し、日常的な場面をイメージした見立て遊びができるようになったことや、興味のある遊びを見つけていること、友達と一緒にいることを喜ぶようになったことを踏まえて、ままごとや粘土遊びなどの室内遊びを楽しむ様子を公開した。

ままごと遊び

粘土遊び

６　意見交流

アドバイザーの支援を受けながら、園内研修コーディネーターの進行の下、意見交流を行った。

担任から、環境構成の見直しに至るまでの経緯等について説明した後、２グループに分かれ、園が示した「公開保育気付きシート」に基づき、子どもがイメージを膨らませている姿や子ども同士の関わり、環境構成について話し合った。

その後、各グループで出された意見を全体で共有し、アドバイザーが講評を行った。

園内研修コーディネーターによる進行

アドバイザーによる講評

Ⅵ　安佐南区

１　園名

実施園：沼田保育園
連携園：安西幼稚園

２　日時

令和３年１２月８日（水）　１０：００～１２：００

３　参加園

公立園４園　６名、私立園２園　４名

４　意見交流したいポイント

・　子どもが物語のイメージをもちながら身体を動かし、楽しさを感じているかについて
・　遊んでいる子どものイメージに合わせて、環境を変化させることで子どもが感じた興味・関心・表情・心情・関わりの姿について

５　公開内容

２歳児が、絵本『ぎろろんやまと１０ぴきのかえる』にクラスで親しんでいることや、オタマジャクシの飼育を通して生き物への関心を育んできたことなどを踏まえ、先生や友達と一緒に絵本のイメージを持ちながら、蜘蛛の巣に見立てたゴムをくぐる、山に見立てたマットを超える等の動きや、保育者が仮装したコウモリとの関わりを楽しむ様子を公開した。

「ぎろろんやま」を超える

子どもがコウモリを遊びに誘う

６　意見交流

アドバイザーの支援を受けながら、園内研修コーディネーターの進行の下、意見交流を行った。

担任から、公開当日までに至る子どもの姿と、遊びが広がっていった様子について説明した後、４グループに分かれて、子どもの興味・関心や表情、心情など印象に残った姿や環境構成について意見交流した。

その後、各グループで出された意見を全体で共有し、アドバイザーが講評を行った。

グループでの意見交流

全体での意見共有

Ⅶ　安芸区

１　園名

実施園：船越幼稚園

連携園：船越西部保育園

２　日時

令和３年１０月２０日（水）　９：１５～１１：３０

３　参加園

公立１校１園　２名、私立園３園　５名

４　意見交流したいポイント

- 身近な人や環境に親しみ、主体的に活動に取り組む幼児の育成について
- 主体的に活動するための環境構成や援助について
- 幼児期の遊びがどのように学びにつながるかについて

５　公開内容

子どもが秋の自然物に興味を持ち、触れて楽しんでいることや、気の合う友達と一緒に遊ぶようになったこと、身体を動かす遊びに継続的に取り組んでいたことなどを踏まえ、「わくわくの秋、みんなで一緒にやってみよう」をテーマに、３歳児から５歳児の全園児が関わりながらステージでの歌や踊りの発表、木の実や小枝を使った製作、竹馬などの運動遊具へのチャレンジなど、気に入った環境に関わって遊ぶ様子を公開した。

異年齢で楽しむステージ発表

友達とどんぐりを使った製作

６　意見交流

アドバイザーがコーディネーターとなり、意見交流を行った。

主任教諭から、公開当日までに至る子どもの興味・関心や異年齢の関わりについて説明した後、子どもが主体的に関わって遊ぶための環境の工夫ややりたい気持ちを引き出す教師の援助・言葉がけと、幼児期の終わりまでに育って欲しい１０の姿とのつながりについて全体で話し合った。

その後、アドバイザーが講評を行った。

園から公開当日までの様子について説明

全体での意見交流

Ⅷ　佐伯区

１　園名

実施園：鈴峰園保育園
連携園：なし

２　日時

令和３年１２月９日（木）　１０：００～１１：５０

３　参加園

公立園１園　１名、私立園４園　４名

４　意見交流したいポイント

・　子どもが自分の思いを持って遊ぼうとしていたかについて
・　子ども自らが遊びたくなるような環境について

５　公開内容

３歳児が、楽器遊びや空き箱等の廃材を使った遊びなどの活動をしてきたことや、４、５歳児の劇や合奏に対する憧れの気持ちを持っていることなどを踏まえ、廃材を使って自分がイメージする形や色の楽器を製作し、全園児の前での演奏会を行うことを通して、自ら作ったもので表現する楽しさや異年齢児との関わりの中で一体感を感じていく様子を公開した。

演奏会に向けた楽器づくり

全園児が観客となった演奏会

６　意見交流

アドバイザーの支援を受けながら、園長による全体進行の下、意見交流を行った。

担任から公開当日までに至る子どもの育ちについて説明した後、２グループに分かれ、印象に残った子どもの言葉や表情、姿、環境構成について話し合った。

その後、各グループで出された意見を全体で共有し、アドバイザーが講評した。

グループでの意見交流

全体での意見共有